

Ⅲ 草加・瀬崎まちづくり市民会議 ～公設施設の住民管理を実現～

はじめに

瀬崎地区のプロフィール

瀬崎地区は、草加市の最東南部に位置し、南は毛長川をはさんで東京都足立区と接し、東端は伝右川により八潮市との境界になっています。地区の西側は東武伊勢崎線で、北側は県道草加三郷線が境となります。

瀬崎という地名は、地区の東の端で毛長川と伝右川が合流して、三角州になっているため、「瀬（川）の崎（先）の地」からその名がついたと伝えられています。

川にはさまれた肥沃な農村として古くから人が住んでいたと想像されますが、江戸後期から明治初期にかけて、工場集積のさきがけといえる川を生かした染色業や和晒業などが多く立地してきました。現在は、東武伊勢崎線谷塚駅から東に広がった住宅と工場が混在する地域となっています。

対象地域	草加市瀬崎町全域		
地域面積	1, 316	km ²	
地域人口	14, 728	人	} 平成18年11月1日現在
世帯数	6, 263	世帯	
主な施設	瀬崎小学校 瀬崎保育園 浅間神社	瀬崎中学校 谷塚幼稚園 瀬崎グランド	スポーツ宣言記念体育館 瀬崎コミュニティセンター 草加八潮準看護学校
自治組織	草加市町会連合会谷塚東部ブロック (瀬崎第一町会・瀬崎第二町会・瀬崎第三町会谷塚コーナ自治会)		

1. 行政のモデル地区公募に手を挙げて…

2つのモデル地区の指定

瀬崎地区は、平成12年度「草加市都市計画マスタープラン推進事業モデル地区」と「草加市パートナーシップまちづくり事業モデル地区」の指定を受け、心の豊かさを念頭に置いて、地域の都市基盤整備の向上を求めて、誰もが住みよいまちづくりをめざし、住民と行政の協働作業による新しいシステムの「まちづくり」にとり組んでいます。

平成12年度は「瀬崎まちづくり研究会」として地域の調査研究ならびに現状把握を行い、引き続き平成13年7月に、研究会の成果を元にした瀬崎地区の将来像を模索する「瀬崎まちづくり市民会議」を発足し、現在具体的なまちづくり計画の実現に取り組んでいます。

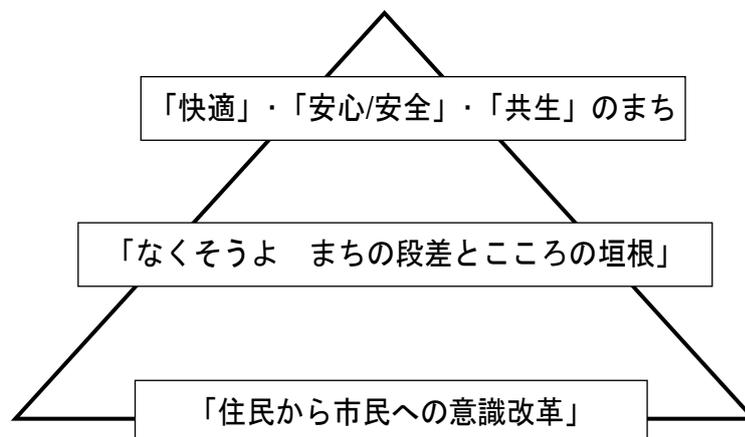
わたしたちは、このモデル事業が単に瀬崎地区への取り組みに終わらず、草加市の「市民と行政の新たなシステムづくり」へつなげていく重要な事業であると考えました。

2. 地域にともった“まちづくり”の灯

モデル地区指定のまちづくり活動からみえた「誰にも住みよいまち」づくりの課題を町に住んでいる自分たちが取り組んでいくための「瀬崎まちづくり市民会議」は、次のような考え方や運営組織をつくり、まちづくり活動をしてきました。

まちづくりの考え方 ～瀬崎モデル～

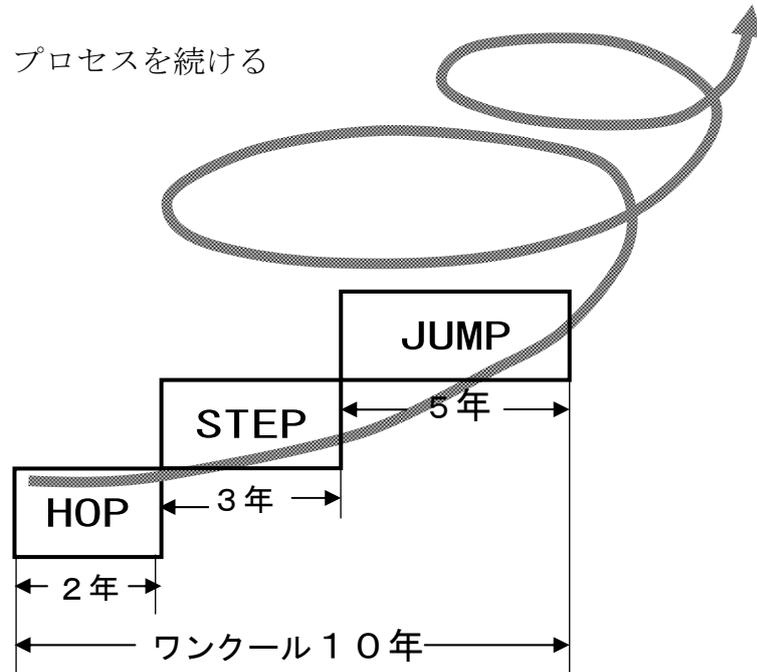
- ◆目 標 「快適」・「安心/安全」・「共生」のまち
- ◆特 徴 ハード・ソフト両面からのまちづくり
行動スローガン「なくそうよ、まちの段差とこころの垣根」
- ◆組 織 新しい市民会議という組織
 - 公募・団体推薦による各層の住民参加型
 - ネットワーク構造のミニコミュニティの中心的存在
 - NPO法人化による効果的効率的に協働できるシステム
 - 住民・産業・行政の3つのセクターのパートナーシップ
- ◆視 点 異なる視点での計画推進
 - ハード事業は、南側地区の「再生」と北側地区の「創造」
 - ソフト事業は、「テーマ型活動組織」の立ち上げ
- ◆条 件 「住民から市民への意識改革」
 - 住民（inhabitant—習慣・慣習を守る人）から、
自立、自走、自治する市民（citizen—個の確立と公的精神の両立）へ脱皮する



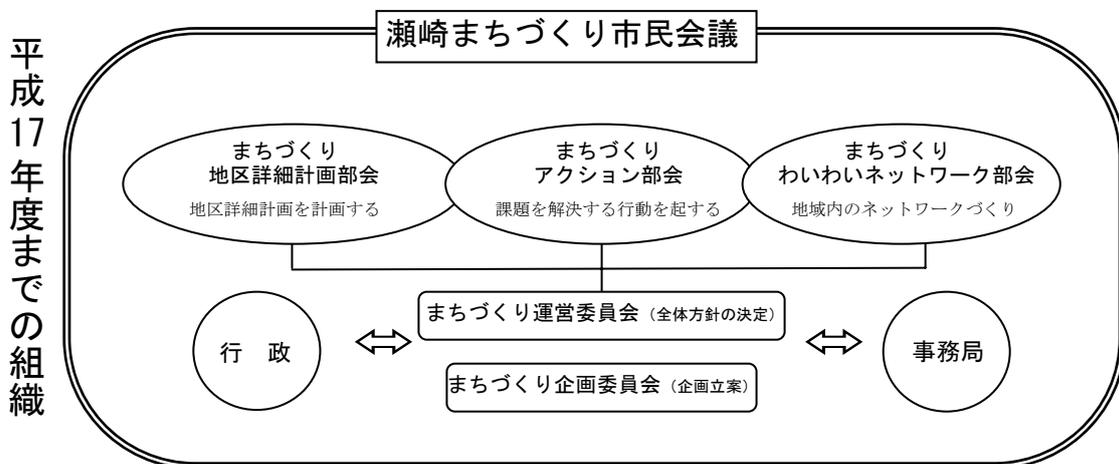
まちづくりの工程表

- ◆ まちづくりは長丁場—ワンクール 10年—
- ◆ 三段跳びの跳躍
 - (HOP) 準備・調査・企画----- 2年
 - (STEP) 事業準備・試走----- 3年
 - (JUMP) 収穫----- 5年

- ◆ 次のクールへ
スパイラルアップ・プロセスを続ける



まちづくりの運営組織



平成17年度までの組織

おもな活動 H17年度までのあゆみ

平成12年		平成13年	
1月	地区内調整・行政との打ち合わせ	1月	テーマ別わいわい懇談会4回(計75名) 「工業とまち/子育て/福祉/道路など」
2月	↓	2月	まちづくり研究会 (60名) 「地域の課題、今後の進め方」
3月		3月	まちづくり研究会 (55名) 「1年の概要報告など」
4月		4月	瀬崎まちづくり市民会議設立準備
5月		5月	↓
6月	研究会開催の打ち合わせ	6月	
7月	第1回まちづくり研究会 (60名) 「マスタープラン地区詳細計画」	7月	瀬崎まちづくり市民会議 設立 & 瀬崎ウォークラリー(400名)
8月		8月	
9月	まちづくり研究会 (50名) 「まちづくりパートナーシップ事業」	9月	
10月		10月	地域事業「ふれあいひろば瀬崎」参加 200名
11月	瀬崎タウンウォッチング (150名) 「14ブロック別でのタウンウォッチング」	11月	まちづくり先進地視察(杉並区)50名 グループ別わいわい懇談会 (20名) 「瀬崎ってどんなまち」
12月	町会別わいわい懇談会4回(計110名) 「瀬崎のまちづくり=自由討論」	12月	瀬崎まちづくり市民会議 (120名) 活動中間報告&市長トークセッション
まちづくり研究会 4回 研究会事務局会議 15回		企画委員会 7回 設立準備会 部会24回 地区詳細計画部会・アクション部会・ わいわいネットワーク部会 述べ21回 事務局会議 9回 まちづくりニュース 3回 発行 ホームページ開設 まちづくり白書編集委員会 14回	

平成14年	
1月	
2月	瀬崎街なか防災訓練 (1,100名) 草加市初の街なかでの防災訓練
3月	瀬崎まちづくり市民会議 (70名) 「活動報告&行政システム」 瀬崎まちづくり白書発刊 &瀬崎地区詳細計画書立案
4月	
5月	せざきマンションネット 設立 せざき歴史散歩の会 設立
6月	瀬崎まちづくり市民会議 (200名) 「地域で子育てができるコミュニティ」 NPO法人化への調査開始
7月	「公園の花壇づくり」開始 わいわい井戸端会議 開始
8月	地区詳細計画部会「交差点改良地権者懇 談会」開始 第1回せざきフェスタ in 夏 (500名)
9月	瀬崎中学校「文化祭」参加 地域事業「敬老会」へ参加
10月	地域イベント「ふれあいひろば瀬崎」参 加
11月	新エンゼルプラン瀬崎地区懇談会
12月	瀬崎まちづくり市民会議 (120名) 「地域に笑い声が響くまち せざき」
せざき歴史散歩の会 4回 事務局まちづくり勉強会 5回 企画委員会 7回 地区詳細計画部会・アクション部会・ わいわいネットワーク部会 述べ34回 事務局会議 19回 まちづくりニュース 5回発行	

平成15年	
1月	初夢市民会議 (55名)
2月	健康なまちづくり事業開始 講演会「元気アップ in 瀬崎」(90名)
3月	せざきYOYO倶楽部 設立 瀬崎まちづくり市民会議(60名)「地域で 子育てができるコミュニティパートII」
4月	コミセン&山王公園の機能検討委員会発 足
5月	
6月	
7月	彩の国プレ国体 歓迎プランター設置
8月	「元気アップ草加塾 in 瀬崎」開始 第2回せざきフェスタ in 夏 (550名)
9月	瀬崎防犯パトロール隊(隊員180名)発足 瀬崎中学校「文化祭」参加
10月	せざき子どものクラブ 設立 (105名) &宝さがしウォークラリー
11月	先進地事例視察(三鷹市) 「コミセン自主管理とふれあい道路」 NPOはじめの一歩 事例発表
12月	
企画委員会 2回 地区詳細計画部会 毎月第4金曜日 アクション部会 毎月第4金曜日 わいわいネットワーク部会 毎月第4金曜日 事務局会議 毎月第3木曜日 せざきマンションネット 毎月第2日曜日 せざき子どものクラブ 毎月第3土曜日 瀬崎防犯パトロール隊 毎月4回 公園清掃&花壇づくり 毎月第2日曜日 わいわい井戸端会議 毎月第3火曜日 コミセン&山王公園機能検討委員会 4回 まちづくりニュース 3回発行	

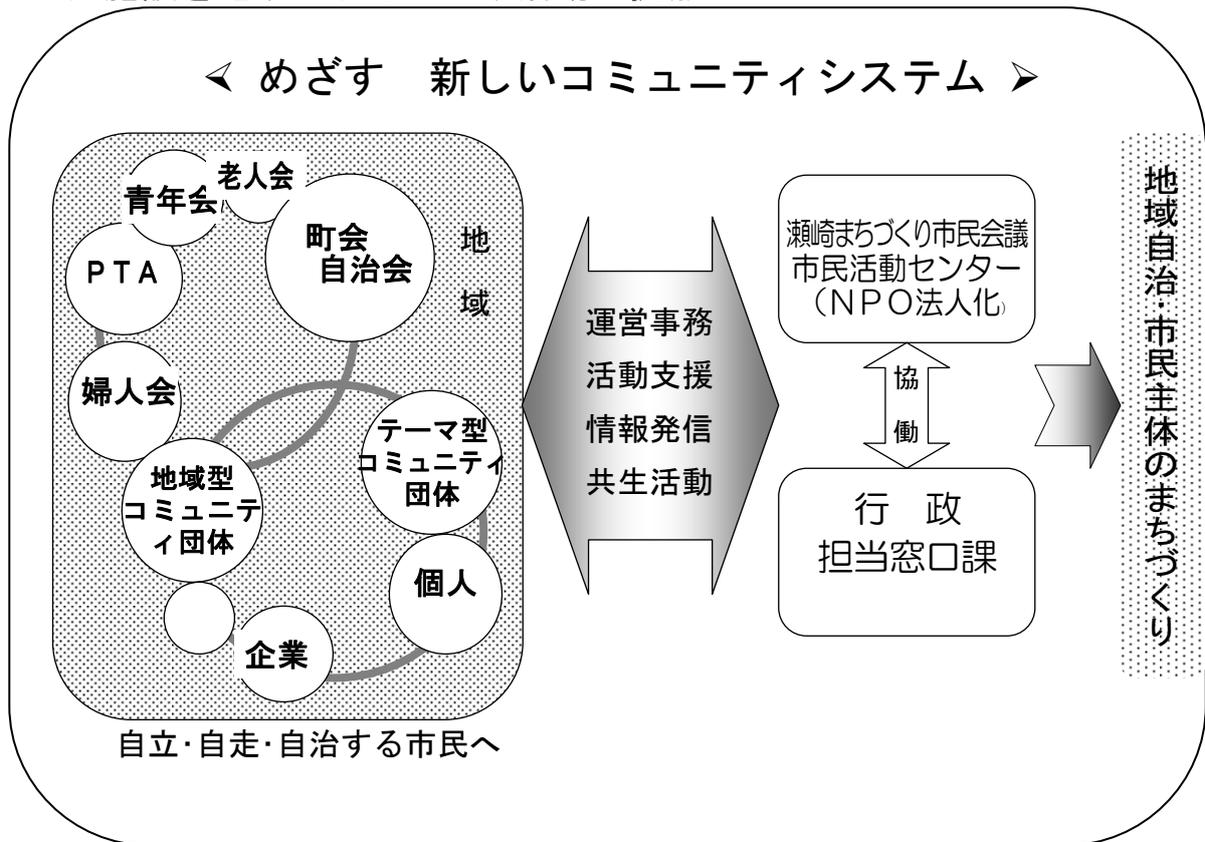
平成16年		平成17年	
1月	初夢市民会議 (31名)	1月	「協働→まちづくり研究会」事例発表 初夢市民会議 (62名)
2月	青森県大井町 視察受ける さいたま市公民館職員研修 事例発表 戸田市上戸田まちづくり 事例発表	2月	そうか産学行タウンウォッチング(35名) そうか産学行企業調査スタート 木下草加市長と話そうまちづくり(75名)
3月	首都圏市町村都市計画担当課連絡協議会 視察受ける 埼玉県まちづくり支援課 事例発表 まちづくり講演会「コミセンを地域のまちづくりの拠点に」(60名)	3月	平成17年度事業を検討する会(メンバー17名)スタート
4月	木下市長ととことん話そうまちづくり(90名) 草加市ふるさとまちづくり応援基金受ける	4月	草加市ふるさとまちづくり応援基金受ける 「蒲原公園再生案」草加市みんなでまちづくり会議へ提案
5月	蒲原公園再生検討会 準備開始	5月	
6月	福井県鯖江市 視察受ける 瀬崎まちづくり市民会議 総会&全体集会「つくろう活かそう地域のネットワーク」(50名)	6月	瀬崎まちづくり市民会議 総会&全体集会「瀬崎コミセンを地域のまちづくりの拠点に」(80名)
7月	彩の国まごころ国体ウェルカム作戦 プランター500個(里親システム)スタート 第3回せざきフェスタ in夏(800名)	7月	
8月		8月	第4回せざきフェスタ in夏(900名)
9月	瀬崎防犯パトロール隊 全国表彰受賞	9月	平成18年度事業検討委員会スタート 瀬崎コミセンの指定管理者として決定
10月	彩の国まごころ国体 炬火リレー歓迎イベント設営(600名) 蒲原公園再生案 提案 瀬崎まちづくり養成講座 スタート 高崎大学 桜井教授 視察受ける ふれあいひろば瀬崎(350名)	10月	木下市長 講演会 「ふれあい親水緑道」草加市みんなでまちづくり会議へ提案
11月	元気アップクラブ 設立(70名) さいたま市公民館職員研修事例発表 瀬崎中学校連携事業「地域の人の講話」	11月	
12月	第2回タウンウォッチング(150名) 瀬崎中学校連携事業「地域の人々との交流」 瀬崎ふれあいクリスマスコンサート(350名) 木下草加市長との懇談会	12月	第2回瀬崎ふれあいクリスマスコンサート
企画委員会 2回 地区詳細計画部会 毎月第4金曜日 アクション部会 毎月第4金曜日 わいわいネットワーク部会 毎月第4金曜日 事務局会議 毎月第3木曜日 せざきマンションネット 毎月第2日曜日 せざき子どものクラブ 毎月第3土曜日 瀬崎防犯パトロール隊 毎月4回 公園清掃&花壇づくり 毎月第2日曜日 わいわい井戸端会議 毎月第3火曜日 コミセン&山王公園機能検討委員会 4回 (コミセン自主管理特別推進委員会 随時)		元気アップクラブ 毎週木曜日 蒲原公園再生検討会 4回 元気アップクラブ立ち上げ準備会 7回 元気アップクラブ毎週木曜日 ふれあい親水緑道推進委員会 月1回 ごみ減量推進プロジェクト 月1回 事務所当番会議 毎月1回 まちづくりニュース編集会議 13回 まちづくりニュース 12回発行	

3. テーマ型まちづくりが生まれだした！

まちづくり活動のいろいろな場面から、活動テーマをもったグループが立ち上がってきました。

- せざき歴史散歩の会（H14年5月設立）
 - ・地域の歴史&文化等の研究探訪
 →閉会
- わいわい井戸端会議（H14年7月開始）
 - ・瀬崎小学校平成塾で気楽におしゃべり 毎月第3火曜日
 →瀬崎コミュニティセンターで開催中
- 花と緑のまちづくり（H14年7月開始）
 - ・浅間公園・新田公園で花壇づくり 毎月第2日曜日
 →「花と緑の公園づくり」と名称変更
- せざきマンションネット（H14年7月設立）
 - ・快適マンションライフ情報交換 毎月第2日曜日
 →草加市と協働で、草加市内のマンションネットづくり
- 瀬崎YOYO倶楽部（H15年3月設立）
 - ・リタイアした人が中心 遊ぶ学ぶ創る 毎月第2木曜日
 →会員10名から40名へ
- 瀬崎防犯パトロール隊（H15年9月発足）
 - ・地区内4班編成で曜日別巡回
 →青色回転灯カーで下校時パトロールも実施
- せざき子どもクラブ（H15年10月設立）
 - ・多世代みまもり隊が特色 毎月第3土曜日
- ◎せざき健康なまちづくり事業（H15年2月開始） → ●元気アップクラブ（H16年10月設立）
 - ・「元気アップ草加塾 in 瀬崎」教室の開催
 - ・心と体の健康づくり 地域総合スポーツクラブ 毎週木曜日
- ◎危険交差点改良地権者懇談会（H14年8月開始） → 交差点改良案を地域に公表、説明会を実施。（H18年9月）
 - ・交差点改良工事にむけて地権者懇談会
 - 歩道橋架け替え・撤去検討のための小委員会設置
- ◎ふれあい親水緑道検討会（H15年10月開始） → 草加市へ提言し、5年をめどに実現するという回答を得る。（H18年7月）
 - ・うるおいのある地域の親水遊歩道づくり
- ◎コミセン&山王公園機能検討委員会（H15年4月開始）
 - ・地域拠点としての活用、山王公園との一体化検討
 → ◎コミセン住民管理特別推進委員会（H17年7月開始）
- ◎蒲原公園再生検討委員会（H16年4月開始） → 再生工事開始（H18年12月）
 - ・スポーツ健康エリアの軽スポーツができる公園づくり
- ◎彩の国まごころ国体ウェルカム大作戦（H16年7月開始）
 - ・国体歓迎プランター500基設置（里親システム）
- ◎ごみ減量推進プロジェクト（H17年7月開始）
 - ・ゴミの減量による市役所予算削減分を地域に還元

4. 公共施設を地域のまちづくり活動の拠点に…

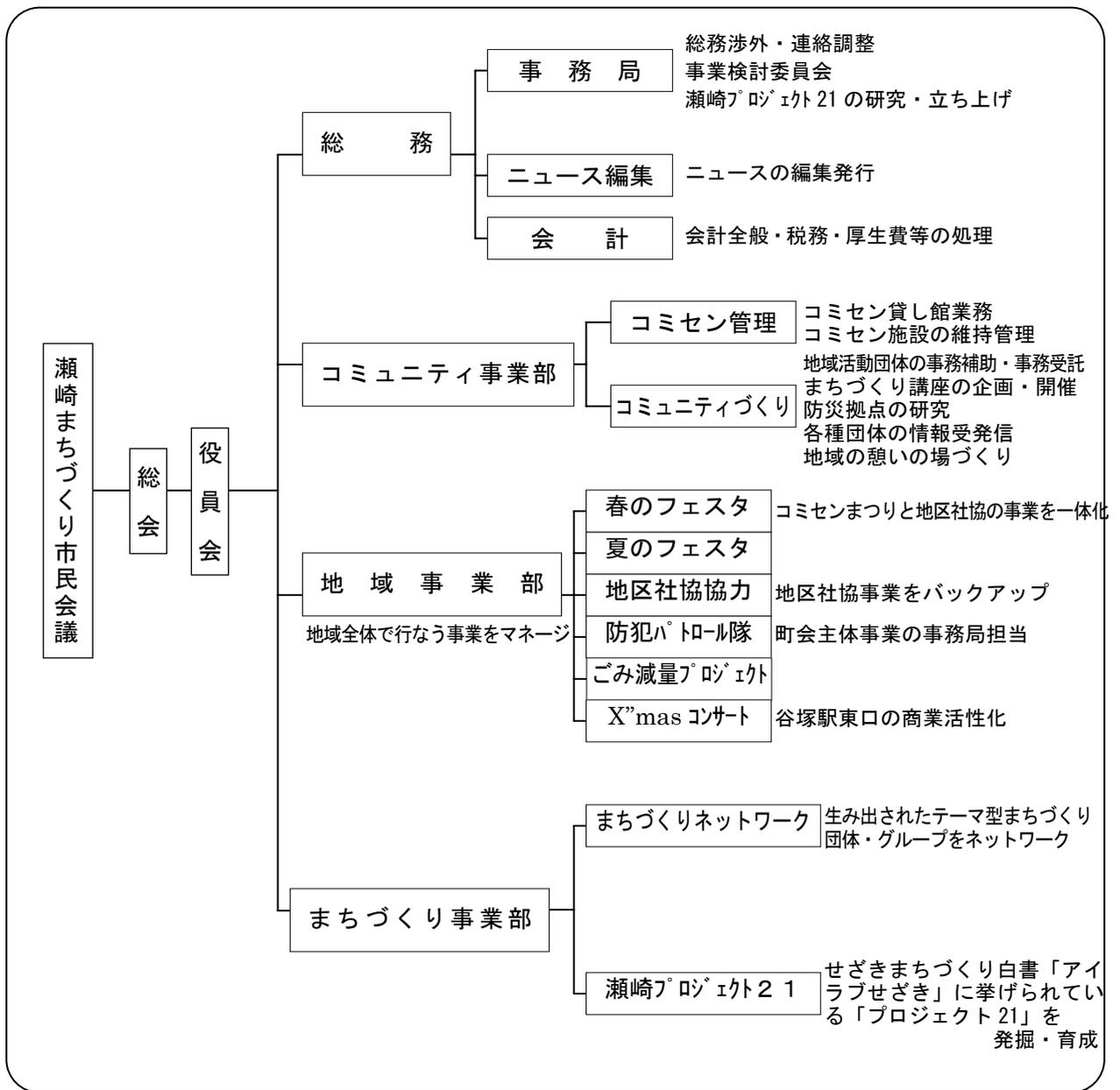


【住民管理への準備】

- ★平成14年3月 せざきまちづくり白書「アイラブ瀬崎」のプロジェクト21（課題解決プロジェクト）に、上記の図表とともに明記
- ★平成14年4月 コミセン&山王公園機能検討委員会 設置
地域拠点としての活用、山王公園との一体化検討を開始
- ★平成15年11月 先進地「三鷹市コミュニティセンター」視察
- ★平成16年3月 まちづくり講演会「コミセンを地域のまちづくりの拠点に」
- ★平成16年10月～平成17年6月 まちづくり養成講座開催 住民管理のための人づくり
- ★平成17年2月 タウンミーティング「木下市長ととことん話そうまちづくり」
検討中の課題等を話し合う
- ★平成17年7月 まちづくり講演会「瀬崎コミセンを地域のまちづくりの拠点に」岡 幸恵氏
- ★平成17年7月 コミセン住民管理特別推進委員会 設置
住民管理のための組織、運営など全般の検討を開始
- ★平成17年7月 先進地「武蔵野市けやきコミュニティセンター」・「町田市」視察
- ★平成17年9月 草加市議会で指定管理者として可決
- ★平成17年10月 まちづくり講演会「草加市のコミセン設置の経緯」
設置の背景、目的、運営方法、そして現在までの経緯を学ぶ

- ★平成17年10月 平成18年度事業検討委員会 設置
- ★平成17年11月 先進地「武蔵野市けやきコミュニティセンター」視察
- ★平成18年2月～平成18年度事業検討委員会とコミセン住民管理特別推進委員会合同会議
- ★平成18年3月 総会でコミセン指定管理の運営全般の承認を得る
 管理が、平成18年4月に実現！

運営組織を改造



6. まちづくり活動拠点の運営上の課題